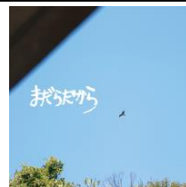


まだらの風



令和7年3月6日
学校便り No.22
校長 原口 真

『 見つけよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、高めよう馬渡の力 』
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

2月21日に公開された『まだらだから』ミュージックビデオの再生回数が1万2千回を超えています。たくさんの人々に馬渡のよさを知ってほしいという子どもたちの願いが届いているようです。[学校HP](#)からも視聴できます。

近代図書館ワークショップ～画家の先生による絵画教室～

2月27日、小学生を対象に画家の松本実桜さんを講師としてお招きし、近代図書館絵画ワーク



ショップが行われました。モデルとして机の上にのせられたのは魚介類(アジとイカ)の現物!でした。子どもたちは目の前のアジやイカの形や表面の模様をまじまじと見つめて画用紙に色を重ねていきます。アジのお腹の微妙な色の変化を繊細にぬり分けたり、イカの頭の赤いつぶ感に気づいてティッシュに絵の具をつけて叩いてみたりと豊かな発想に驚かされます。講師の松本先生のアドバイスをいただきながら作品を仕上げることができました。作品は玄関近くに掲示していますので是非ご覧ください。



マナー検定～中学1・2年生が模擬面接に挑みました～

2月27日、中学1・2年生のマナー検定を行いました。入試面接等への対応力向上と、学校目標に対する各自の取組み状況を確認する場です。マナー検定のお手本は、高校入試の面接練習の経験がある中学3年生が務めます。事前の練習で、入室の仕方、お辞儀、座り方、返答のポイントなどの指導を受けました。なれないことなので緊張しながら練習を重ねます。マナー検定当日、校長から「自分らしさは?」「仲間の良さは?」「夢や目標は持っていますか?」などと質問を受け、1・2年生は一人ひとり緊張しながらもしっかりと自分の考えを伝えることができました。マナー、態度、内容とも立派なものでした。オフィシャルな場面でのような振る舞いをするとよいのかを身に付ける良い機会になりました。



6年生今までありがとう会～心温まるおもてなしに笑顔があふれました～

3月3日、「6年生今までありがとう会」を行いました。7日に卒業を迎える6年生に、小学校1年生から5年生のみんなの感謝を伝える会です。 (「あ」「り」「が」「とう」の礼→)

開会の挨拶に続きペットボトルを倒す「ボーリング大会」の開催です。水が入ったボトルはなかなか倒れませんが、青いボーナスピンをねらってボールを転がします。ピンの底にあるメモを集めると「中1になってもがんばれ!」の言葉ができあがりました。メッセージビデオ視聴の後、ランドセルを背負った4人が並んで頭を下げると「ありがとう」の文字が飛び出てきます。卒業を祝うメッセージが書かれた色紙をプレゼントされると、6年生からも一人ひとりに感謝の手紙が手渡しされました。小学生みんなの思いが込められた心温まる笑顔の会になりました。



お別れソフトボール大会となわとび大会で縦割り活動を行いました

3月3日、卒業を前に小中学生全員で「MADARA CUP お別れソフトボール大会」を行いました。1年間続けたタテ割り活動の最終回です。チーム「むつきだから」VS「あおきだから」の対戦は、序盤は両軍ピッチャー(野口先生、アオキさん)の好投によりゼロが続きましたが、3回にチーム「むつきだから」の打線がつながり一挙3点を上げました。チーム「あおきだから」も終盤に粘りを見せますが一步及ばず、栄冠は「むつきだから」に輝きました。なお、これに先立って行われた「MADARA CUP なわとび大会」は白団が接戦を制しました。1年間の活動を通してお互いを認め励まし合う場面をたくさん見る事ができました。

